

なぜ生産性向上が 必要なのか (Why)

- 各法人・事業所がそれぞれの「あるべき姿」を実現し、全国の障害福祉現場での当事者視点に立った「ケアの充実」につなげていくために、生産性向上の推進が必要
- 障害福祉特有の多様性・個別性への配慮が必要である一方、当事者視点に立った「ケアの充実」が共通して重要
- 各法人・事業所がその特徴に応じた「現状」と「あるべき姿」を明らかにし、両者の間のギャップを埋めべく、テクノロジーの導入・活用を含む生産性向上の取組を推進

生産性向上とは何か (What)

- 障害福祉における生産性向上について、「支援者一人一人の力を引き出し、チームでその力を利用者に届けることで、新たな価値を生み出すこと」と定義
- 「生産性」の本質的な意味である、組織等が持っている力を引き出し、新しい価値を生み出すことに即しつつ、障害福祉分野の特性を踏まえて生産性向上の定義を整理

生産性向上を どのように 進めるか (How)

- 生産性向上の取組が利用者や支援者などの「人」を大切にすることがプロセスであることを踏まえ、協調性・包摂性・共益性の3つの価値観を重視
- ①共感をつくる、②課題を「見える化」する、③解決策を考える、④試してみる、⑤振り返るという5つのステップで取組を提示

【参考】障害福祉現場の生産性向上に向けた調査研究事業（概要）

助成先事業者: 株式会社NTTデータ経営研究所

主な取組

- 障害福祉現場の生産性向上の構造的整理及び可視化
- 障害福祉現場における生産性向上に向けた課題整理
- 生産性向上の事例収集及び実証研究
- 生産性向上推進フォーラムの開催

検討委員会委員

浅見 秀俊 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会、社会福祉法人 清心会 総務部係長	新藤 健太 学校法人 日本社会事業大学 社会福祉学部 福祉援助学科 准教授
大塚 さおり 全国身体障害者施設協議会 人材・広報委員長、社会福祉法人 和松会 清松園 施設長	中川 亮 一般社団法人 全国介護事業者連盟 副理事長、障害福祉事業部会 会長
小澤 啓洋 全国社会就労センター協議会 常任協議員、社会福祉法人 光明会 理事長	野澤 和弘 一般社団法人 スローコミュニケーション 理事長、植草学園大学 副学長
小田 知宏 一般社団法人全国児童発達支援協議会 理事、NPO法人 発達わんぱく会 理事長	林 晃弘 社会福祉法人フラット 理事長
鎌田 大啓 株式会社TRAPE 代表取締役	東 祐二 一般社団法人日本作業療法士協会 事務局 事務局員

スケジュール

令和7年8月 第1回有識者会議
10月 第2回有識者会議
12月 第3回有識者会議

令和8年1月 第4回有識者会議
3月 生産性向上推進フォーラム
「障害福祉現場における生産性向上の基本的な考え方（仮称）」の公表